

## 自動エクスポート時にフォーム全体のイメージを

## 指定したディレクトリにコピーする設定

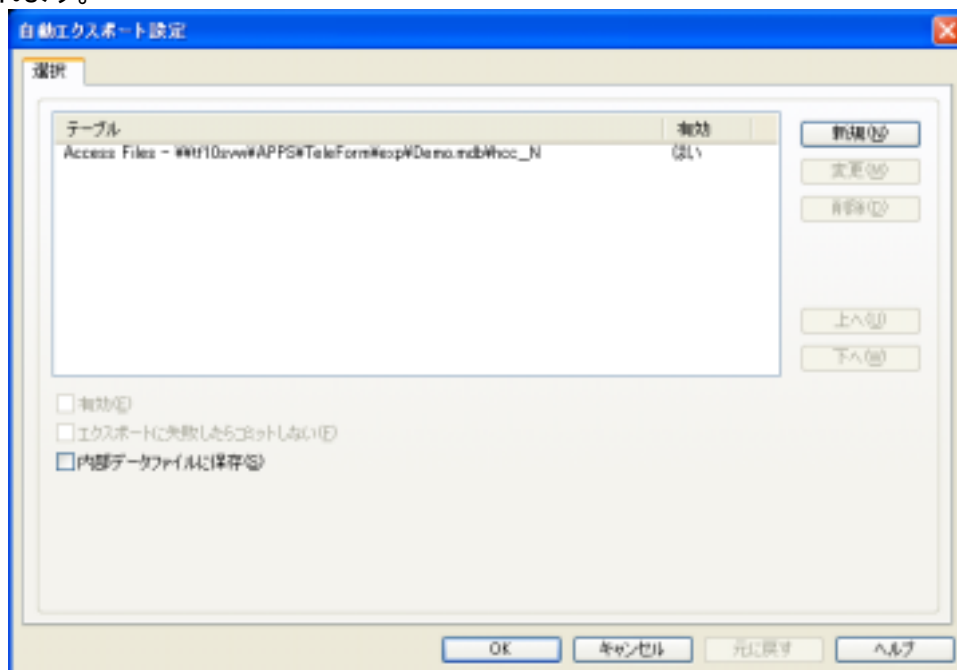
2008年02月14日  
株式会社 ハンモック

フォーム全体のイメージをファイル・サーバ等の特定のディレクトリにコピーする設定は以下の通りです。

(この設定手順は、詳細グループを含むフォームの場合も共通です。)

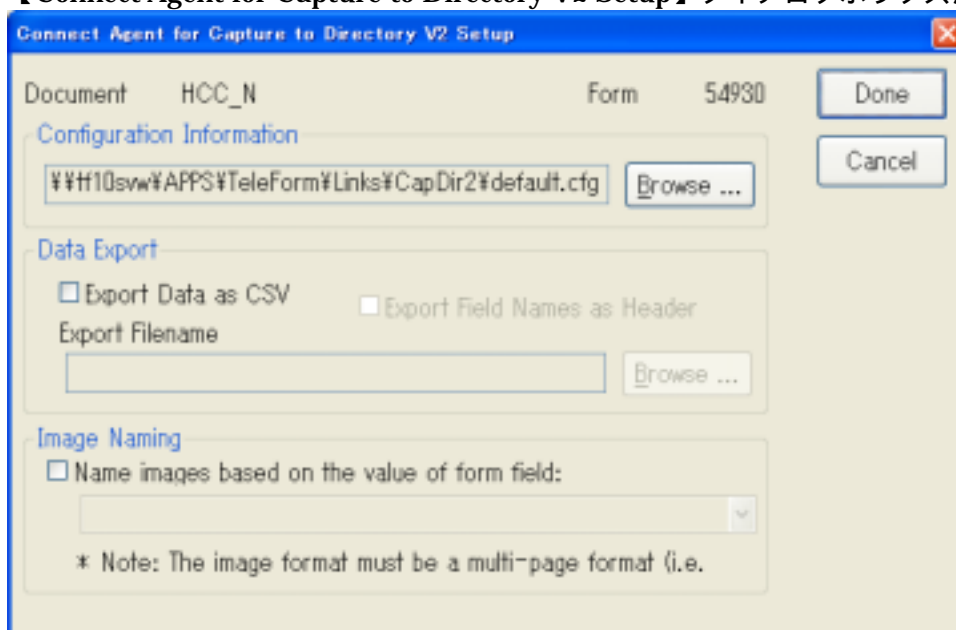
なお、この設定は、データをエクスポートする設定(通常の自動エクスポート設定)とは別に新規で行う必要があります。

1. フォーム全体のイメージを保存するためのディレクトリを任意の場所に作成します。  
ディレクトリのパスに日本語が含まれているとコピーが上手くいかない可能性があります。  
フォルダ名は半角英数にして下さい。  
イメージを蓄積しますので、必要と考えられる空き容量が確保できる場所に作成して下さい。  
このディレクトリに蓄積されるイメージは、TELEformの『ログの除去』機能では削除されません。
2. Designer を起動し、該当フォームを開きます。
3. 『フォーム』メニューの『自動エクスポート設定』を選択します。
4. 【自動エクスポート設定】ダイアログボックスが表示されます。  
既に OCR したデータのエクスポート先を設定している場合、ウィンドウ内にその設定が表示されます。

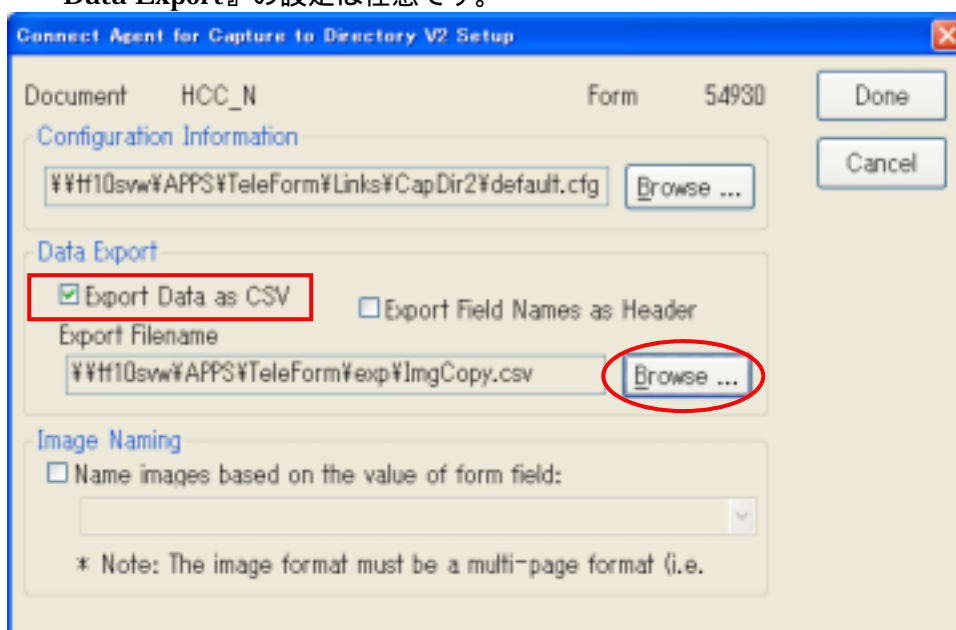


5. [ 新規 ] ボタンをクリックします。
6. “メイン”タブの「形式」ドロップダウンリストから **Capture to Directory V2** を選択し、[ 保存 ] ボタンをクリックします。

7. 【Connect Agent for Capture to Directory V2 Setup】ダイアログボックスが表示されます。

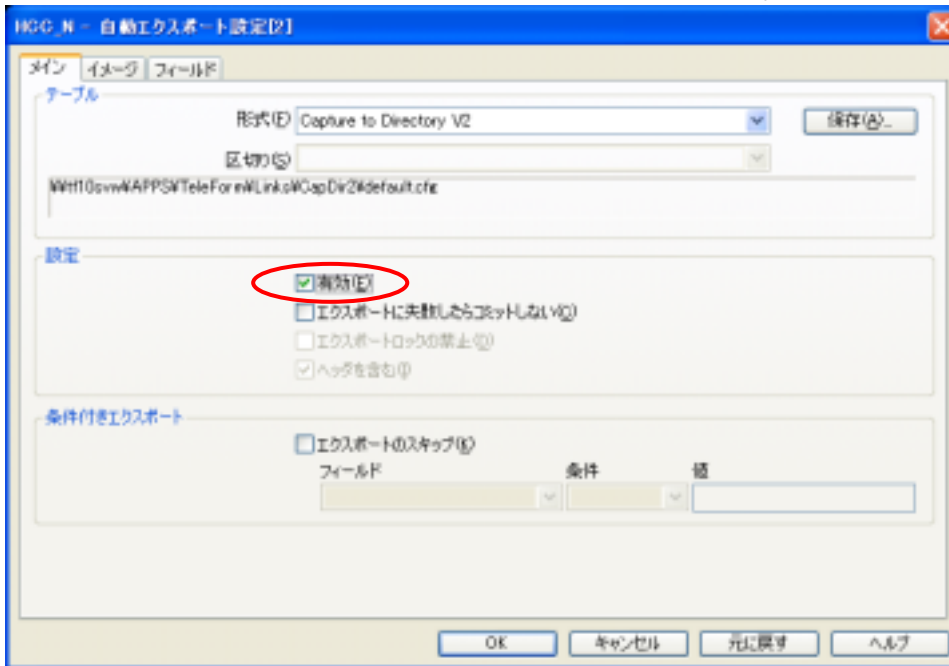


8. フォーム全体のイメージをどこにどのような名前で保存したかを CSV ファイルに出力しておきたい場合には、『Data Export』の「Export Data as CSV」オプションを有効にして、[ Browse ] ボタンで CSV ファイルの出力先とファイル名を設定して下さい。  
「Export Field Names as Header」オプションを有効にすると、CSV ファイルの 1 行目にフィールド名が記載されます。  
『Data Export』の設定は任意です。

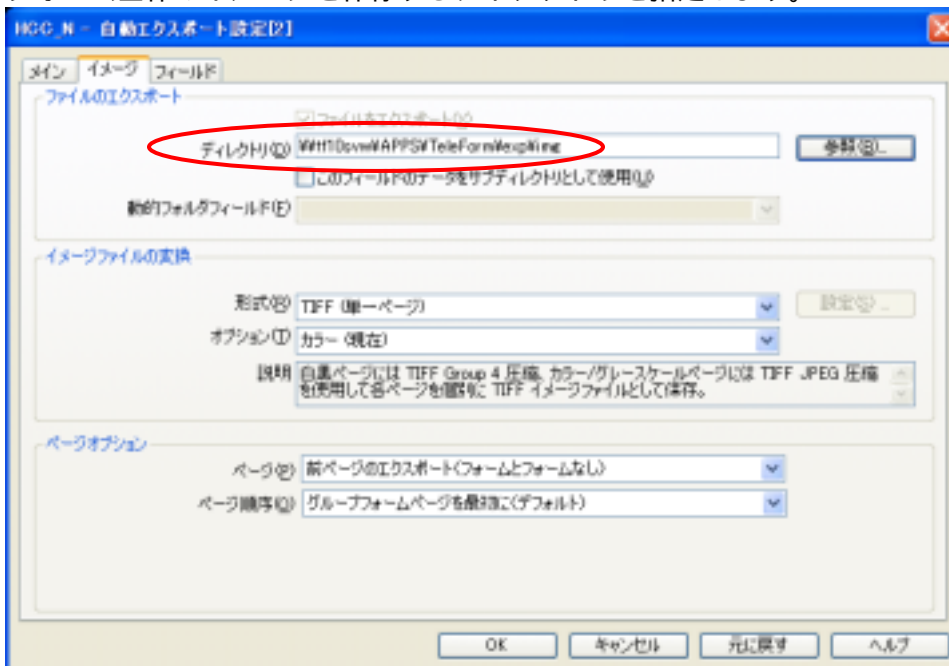


9. [ Done ] ボタンをクリックします。

10. “メイン” タブの「有効」オプションにチェックを入れます。

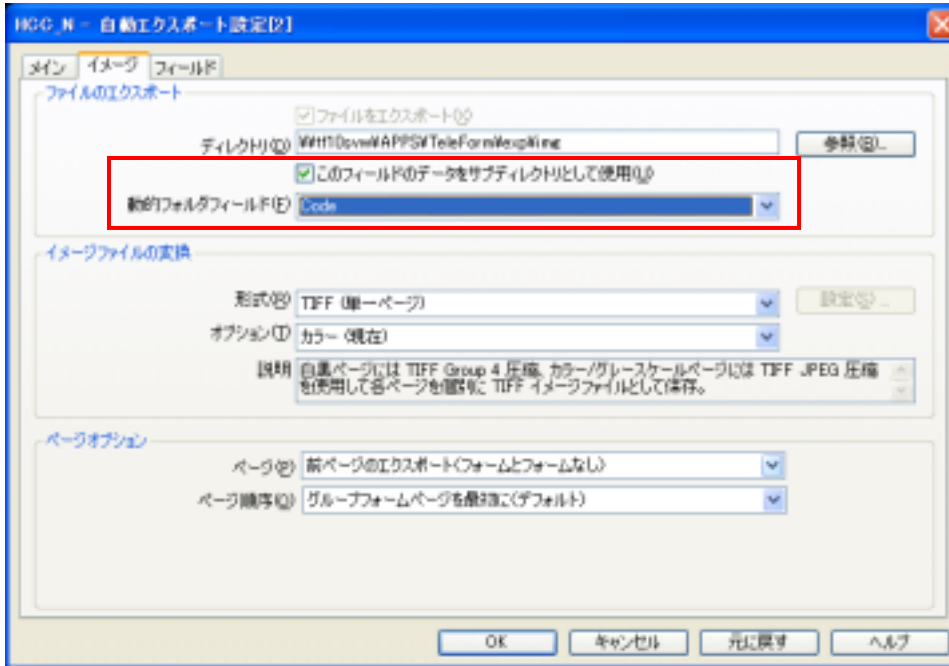


11. “イメージ” タブを開き、「ディレクトリ」の [参照] ボタンをクリックし、手順 1 で用意したフォーム全体のイメージを保存するディレクトリを指定します。

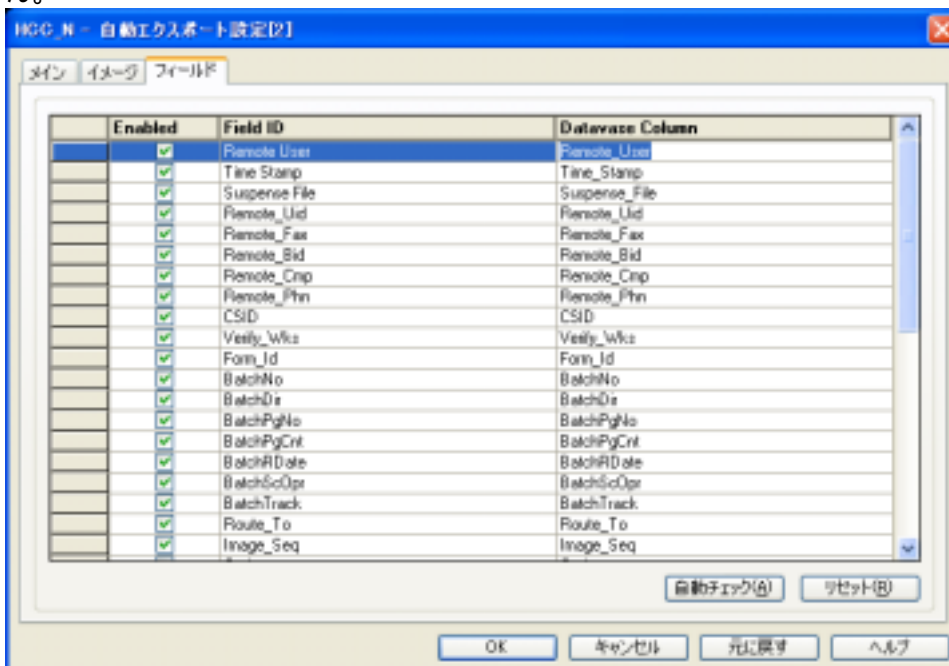


12. 「形式」ドロップダウンリストにて、イメージをコピーする際のファイル形式を設定します。
13. 「オプション」「ページ」「ページ順序」ドロップダウンリストにて、運用に合うように設定を行います。
14. 「サブディレクトリとしてフォームフィールドの使用」オプションを活用することにより、以下の処理が可能となります。  
「ディレクトリ」にて指定したディレクトリに、フォーム上のフィールドの値を名前に持つサブディレクトリを自動生成する。  
生成されたサブディレクトリに該当イメージを格納する。

15. 「サブディレクトリとしてフォームフィールドの使用」を活用する場合には、このオプションを有効にし、「ダイナミックフォルダフィールド」ドロップダウンリストから、サブディレクトリ名として使用するフォームフィールドを選択します。



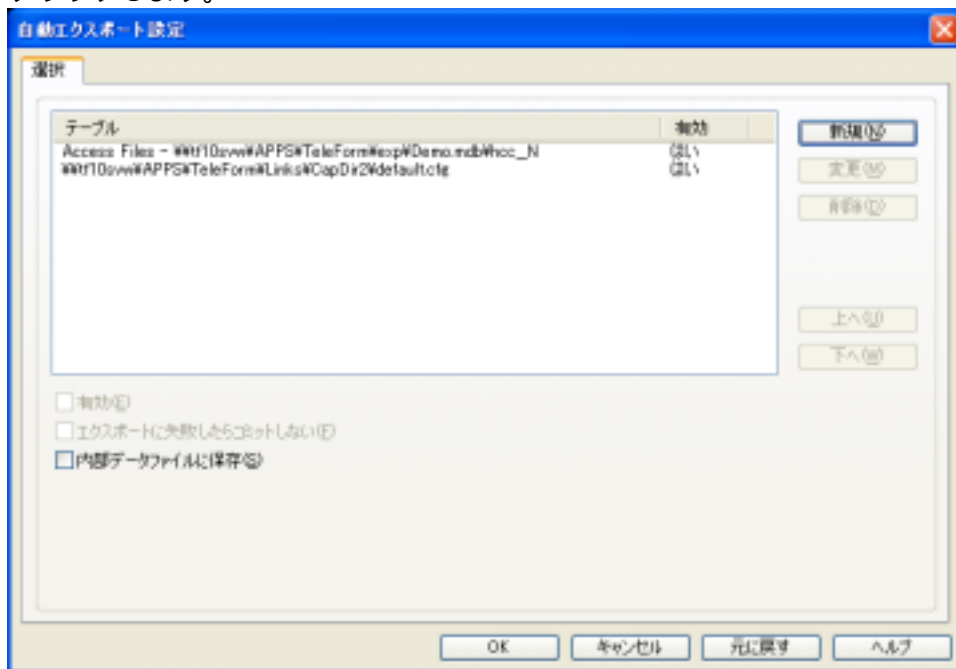
16. 手順 8 にて、CSV ファイルに出力する設定にしている場合、“フィールド”タブにて、CSV ファイルに出力したいフィールドを Enable とし、それ以外のフィールドは無効にして、[ OK ] ボタンをクリックします。  
CSV ファイルへの出力を行わない場合には、“フィールド”タブではとくに設定は必要ありません。



### 解説

フォームに詳細グループを含んでいる場合、“詳細グループ”タブが表示されますが、“詳細グループ”タブで設定を行う必要はありません。

17. フォーム全体のイメージを保存するための設定が追加されていることを確認し、[ OK ] ボタンをクリックします。

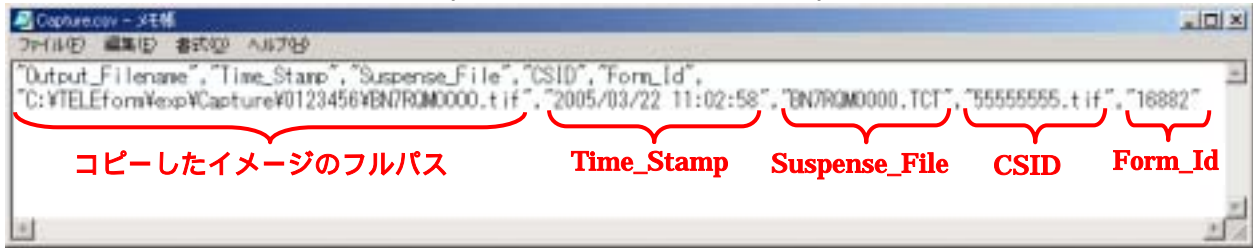


18. フォームを上書き保存します。

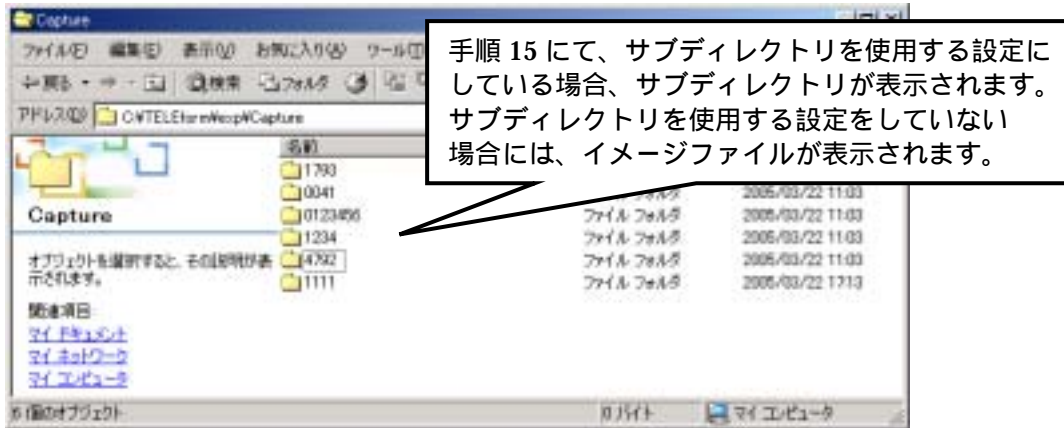
以上で、自動エクスポート時にフォーム全体のイメージをコピーする設定は終了です。

この設定を行った上で、フォームを処理すると、データのエキスポートと同時に、CSV ファイルへのデータの出力と、指定したディレクトリへのフォーム全体のイメージのコピーが実行されます。

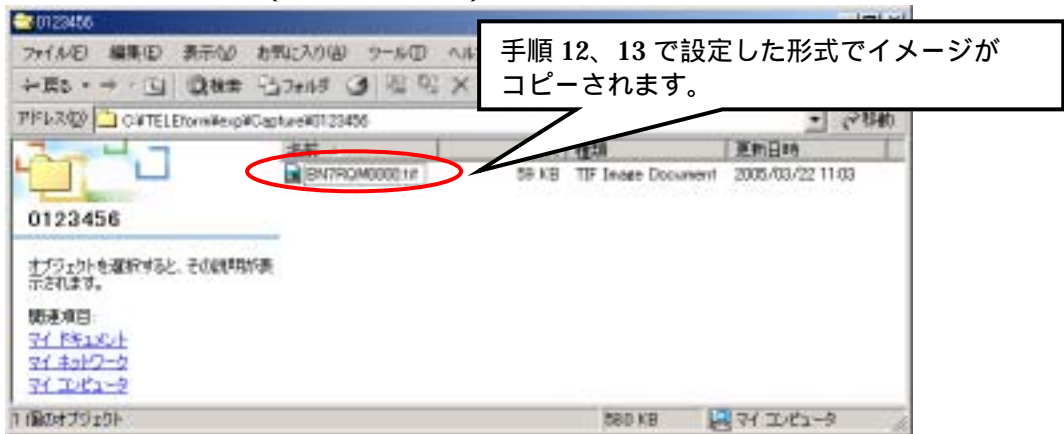
CSV ファイルへのデータ出力の例（設定：手順 8 および手順 16）



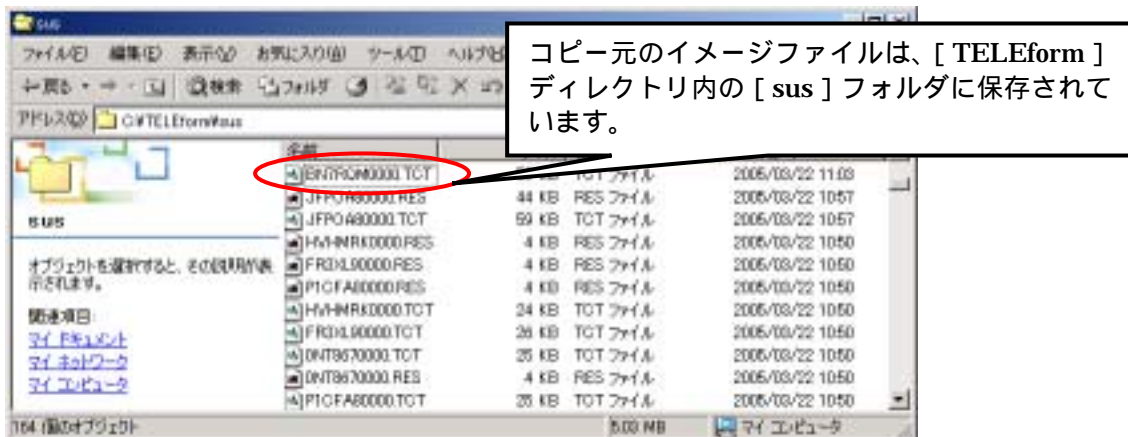
指定したディレクトリへのフォーム全体イメージのコピーの例  
ディレクトリ（設定：手順 11）



サブディレクトリ（設定：手順 15）



SUS フォルダ



## 解説

- コピー元ファイル名とコピーされたファイル名は、拡張子以外は同一です。
- コピー元のイメージファイルが保存されている [ sus ] フォルダは、ログの除去の対象となりますので、コピー後、ログの除去で設定されている日数が経過すると、イメージが削除されます。
- ファイル名はランダムな値（英数混合）で命名されます。  
（ファイル名は有限であるため、長期的にはいずれ、同じファイル名のイメージがコピーされることが考えられます。定期的にコピー先のディレクトリを分ける（変える）等、運用で工夫する必要があります。）
- フォーム全体のイメージのコピーは、データがエクスポートされるタイミングで実行されます。  
（“評価 OK” または “エクスポートに成功” というステータスになっていないと、コピーされません。）
- フォーム全体のイメージのコピーを Reader での OCR 処理前に行うためには、“RTCP”（有償）が必要となります。